

**- 情報の見方 -**

**生きもののイベント**

観察できる場所  
観察できる時期  
観察できる時間帯

解説

**1 イノシシ避難**

浦ノ内湾  
11月中旬  
夜間

11月15日に狩猟期間が始まると、イノシシが浦ノ内から横浪半島へ向けて海を泳ぎ渡って避難します。

**2 ホエール・ウォッチング**

池ノ浦漁港から出発  
7月1日～9月30日  
日中(午前中のほうが良い)

クジラの他に、外洋性の海鳥にも注目。  
問合せ:池ノ浦漁業協同組合  
tel 088-856-1947

**3 アニマル・ウォッチング**

ロード  
横浪スカイライン(県道47号線)  
一年中  
夜間

暗くなってから横浪半島を車で通ると、タヌキやイノシシなどが道路を横切ります。轢かないように注意!

**4 ミサゴの狩場**

新荘川の長竹橋周辺～河口  
一年中  
日中

ミサゴは魚を食べるタカの仲間です。ボラなどを見つけると、ダイナミックに水中へダイビングしてつかまえます。

**5 カモの休息場**

新荘川の新荘川橋周辺～河口  
11月～2月  
日中

冬越しのために多くのカモが日本に来ます。昼間は河口などで休み、夜になると食事のために出かけます。

**6 ササゴイの子育て**

幸町今清神社の境内  
6月上旬～8月中旬  
日中

ササゴイはサギの仲間、東南アジアから子育てのために渡ってきます。境内の大木の枝に巣を作ります。

**7 イワツバメの団地**

高知自動車道高架橋の裏側  
4月上旬～7月中旬  
日中

イワツバメはツバメの仲間、腰が白いのが特徴です。高架橋の裏側に集団で巣を作り、子育てをします。

**8 ツバメのねぐら**

多ノ郷桐間 高架橋下に広がるヨシ原  
8月上旬～9月上旬  
日没前30分～日没

ツバメは、子育てが終わってから秋に南へ渡っていくまでの間、夜はヨシ原などにねぐらをとる集団です。

**9 サシバの渡り**

虚空蔵山山頂  
10月初旬  
午前中

サシバは、里山にすむタカです。日本で子育てをした後、大群で東南アジアに渡っていきます。

**10 カラスのお宿**

須崎魚市場対岸の灯台の周り  
9月上旬～11月下旬  
日没前30分～日没後30分

秋の夕方、市内で空を見上げていると、沢山のカラスが、須崎湾に向かって飛んでいく姿を見られます。

**11 カワウとサギの繁殖地**

戸島北東斜面の林  
4月上旬～6月下旬  
日中

カワウ、コサギ、アオサギ、ゴイサギなどが集団で子育てをしています。中ノ島の港の西端から見られます。

**12 カワウのねぐら入り**

神島南東斜面  
11月上旬～2月下旬  
日没前2時間～日没

夕方、中ノ島大橋に立っていると、須崎湾から神島に向かって沢山のカワウが飛んでいく姿を見られます。

**13 カンムリカイツブリの湾**

浦ノ内湾最奥部  
11月上旬～2月下旬  
日中

カンムリカイツブリは、冬に大陸から渡ってくる冬鳥です。カイツブリ類の中では大柄で、青い海に白い首が目立ちます。

**14 湿地の鳥たち**

木工所前の休耕田  
5月上旬～8月下旬  
日中

市内では数少ない湿地で、多くの野鳥が集まります。日中はオオヨシキリ、夕方はヒクイナの音が聞こえます。

**15 カメ・ヘビ・イモリの谷**

浦ノ内東分 民間工場の前の谷  
一年中  
日中

昔ながらの谷戸が広がり、何種類もの爬虫類、両生類を見られます。住人の方に、ご挨拶を忘れずに!

**16 カジカガエルの瀬**

依包川と新荘川の合流点  
6月上旬～8月中旬  
日没後

清流に暮らすカジカガエル。新荘川では広い範囲で声を聴けますが、この場所は特に多いように感じます。

**17 消えゆくウシガエル**

新荘池  
5月上旬～8月中旬  
日没後

アメリカから連れてこられたウシガエル。他のカエルを食べてしまうので、捕まえても他の場所に放してはいけません。

**18 カエルの谷**

民間工場の裏の谷  
1月～9月  
一日中

カエルの産卵場所を整備しています。季節の移り変わりに合わせて、7種のカエルがやって来ます。

**19 新荘川のアユ**

長竹橋～新荘公民館前  
3月～4月 11月～12月  
日中 日没前後

3月～4月は遡上、11月～12月は産卵する姿が見られます。川には入らずに、橋の上や堤防から観察してください。

**20 外来魚の池**

糺池  
4月～10月  
日中

ブラックバス、ブルーギル、タイリクバラタナゴ、カダヤシが確認されています。捕まえても他の場所に放さないように!

**21 水生昆虫の識別**

上分小中学校前の新荘川  
2月中旬～3月下旬  
日中

この時期、水生昆虫の多くが終齢幼虫になり、種ごとの特徴が判るようになります。種の識別がしやすくなります。

**22 ホタルの川**

坂ノ川川 波介橋より下流  
6月  
夜間

あまり多くはありませんが、ゲンジボタルが飛んでいます。周辺は街灯が無く真っ暗なので、懐中電灯を忘れずに。

**23 アサギマダラの中継地**

野見へいたるバス通り  
10月中旬～11月上旬  
日中

アサギマダラは、長距離の渡りをする蝶です。この時期、白い花を咲かすヒョドリバナの蜜を吸いにやって来ます。

**24 干潟の生きものたち**

桜川河口～須崎湾最奥部  
4月中旬～10月上旬  
干潮前2時間～干潮

須崎市の干潟では、高知県で絶滅が心配される生きものが沢山見つかっています。

**すさき生きものマップ**は

須崎市に生息するさまざまな生きものについて「イベント」

「観察できる場所」

「観察に適した時期」

「観察に適した時間帯」

をそれぞれ紹介しています。

須崎市内での自然観察や環境学習を行う際にガイドブックとしてご利用ください。

**すさき  
生きものマップ**

(動物編)



蟠蛇森から須崎湾を望む

**生きものイベントカレンダー**

春 (3月～5月)	新荘川のアユの遡上(3月～4月) カワウとサギの繁殖地(4月～6月) イワツバメの団地(4月～7月) 外来魚の池(4月～10月) 干潟の生きものたち(4月～10月) 湿地の鳥たち(5月～8月) 消えゆくウシガエル(5月～8月)
夏 (6月～8月)	ホタルの川(6月) ササゴイの子育て(6月～8月) カジカガエルの瀬(6月～8月) ホエール・ウォッチング(7月～9月) ツバメのねぐら入り(8月～9月)
秋 (9月～11月)	カラスのお宿(9月～11月) サシバの渡り(10月) アサギマダラの中継地(10月～11月) イノシシ避難(11月) 新荘川のアユの産卵(11月～12月) カンムリカイツブリの湾(11月～2月) カワウのねぐら入り(11月～2月) カモの休息場(11月～2月)
冬 (12月～2月)	カエルの谷(1月～9月) 水生昆虫の識別(2月～3月)
一年中	ミサゴの狩場 カメ・ヘビ・イモリの谷 アニマル・ウォッチングロード

**もっと詳しく知りたいときは...**

特定非営利活動法人  
**四国自然史科学研究センター**へ

四国の自然史科学について調査研究し、人と野生生物の共生を考えるNPO法人です。新荘公民館(下分乙:C-3)内に事務所を構え、須崎市でもさまざまな生物調査を行い、観察会や講座などを通じて、須崎市の生きものを紹介する活動を行っています。

<連絡先>

〒785-0023 須崎市下分乙470-1  
新荘公民館内  
電話 0889-40-0840 (FAX兼)  
E-Mail sion@lutra.jp  
ホームページ http://www.lutra.jp/



新荘公民館



**須崎市**



須崎市ではカワウと共生できる自然豊かな環境にやさしいまちづくり「かわうそのまちづくり」に取り組んでいます。

**須崎市の概要**

須崎市は高知県のほぼ中央に位置し、東西25km、南北13km、総面積は135.46km<sup>2</sup>です。東に土佐市、西に津野町、北は佐川町、南よりに中土佐町と、それぞれ境しています。地形は山岳丘陵地帯が多いですが、新荘川、桜川、奥浦川などの流域には肥沃な農耕地が開けています。中心市街地は須崎湾口周辺に位置し、湾外に戸島、神島、中ノ島が点在して野見湾を抱えています。東部には横浪三里と呼ばれる風光明媚な浦ノ内湾、横浪半島があり、その南岸はリアス式海岸で絶壁洗う太平洋が広がっています。冬季には北西の季節風が強いのですが、降雪はきわめて少ないです。一方、雨量は全国最高部に属し、高温多湿で作物の育成に好適です。

**須崎市までのアクセス**

高知空港・高知市～須崎市  
高知空港 須崎市  
・自動車約90分  
高知市 須崎市 37km  
・国道56号経由:約60分  
・高知自動車道経由:約30分  
J R 土讃線高知駅 須崎駅  
(各駅停車90分・特急40分)

発行: 須崎市企画課  
〒785-8601 須崎市山手町1番7号  
tel: 0889-42-5691 fax: 0889-42-7320  
写真・編集: 特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター





**注意!**  
 須崎市の干潟には、高知県希少野生動植物保護条例で、平成19年7月に県指定希少野生動植物に選定される予定のシオマネキとトビハゼが生息しています。これらを捕まえると罰せられますので御注意下さい。

### イベントの場所

図中の○マーク内の数字と、右に示した各イベントの赤字とが対応しています。それぞれのイベントの大まかな場所は、地図の周囲にあるアルファベットと数字を組み合わせて、右の一覧に緑字で示しました。

- |                         |                      |                       |                      |
|-------------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| 1: イノシシ避難・・・G-2         | 7: イワツバメの団地・・・D-3    | 13: カムムリカイツブリの湾・・・F-2 | 19: 新荘川のアユ・・・C-3     |
| 2: ホエール・ウォッチング・・・G-3    | 8: ツバメのねぐら・・・D-3     | 14: 湿地の鳥たち・・・F-3      | 20: 外来魚の池・・・D-3      |
| 3: アニマル・ウォッチングロード・・・G-2 | 9: サシバの渡り・・・E-1      | 15: カメ・ヘビ・イモリの谷・・・F-3 | 21: 水生昆虫の識別・・・C-3    |
| 4: ミサゴの狩場・・・D-4         | 10: カラスのお宿・・・D-4     | 16: カジカガエルの瀬・・・B-3    | 22: ホタルの川・・・C-3      |
| 5: カモの休息場・・・D-4         | 11: カワウとサギの繁殖地・・・D-4 | 17: 消えゆくウシガエル・・・D-4   | 23: アサギマダラの中継地・・・E-4 |
| 6: ササゴイの子育て・・・D-3       | 12: カワウのねぐら入り・・・E-5  | 18: カエルの谷・・・E-3       | 24: 干潟の生きものたち・・・D-3  |